



2005-2014

第31期—第40期

～一人は万人のために、万人はひとりのために～

世界同時不況に加えて、東北地方太平洋沖地震に伴う大津波による福島第一原子力発電所の事故により
企業再編や人員削減等、東電生協事業を取り巻く環境は不透明な状況となりました。

火災共済については、地震等見舞金適用範囲拡大(第35期)をはかるとともに、その他災害に
「外部からの物体の落下、飛来、衝突等」を追加するとともに、鑑定人制度(第32期)を導入しました。

家族の保障と安心を継続することを目的に配偶者組合員制度を導入しました。

また、東日本大震災に伴う対応として出資金一部返金を追加実施しました(第38期)。

保険事業については、総合医療保障プランに介護保障オプション(第31期)、

ホールインワン・アルバトロス費用オプション(第37期)を新設し、

がん保険については、先進医療に対応した「がん保険 f (フォルテ)」をスタートしました(第34期)。

営業事業については、インターネットの普及に伴いインターネットショッピングを開設し(第31期)
新たな事業拡大をはかりました。また、創業以来指定店契約していた丸井が契約解除となりました(第31期)。

中越沖地震に伴う復興支援として新潟特産品販売を開始しました(第33期)。

福島第一原子力発電所の事故に伴う風評被害への取り組みの一環として

福島復興支援バザールを「福島の桃」「東北厳選グルメ」から開始(第37期)するとともに、

翌年には福島県漁連との取引を開始し「かつお缶」の販売を開始しました(第38期)。

【世相】

- ・リーマンショックに伴い日本経済の状況も一変し、外需の大幅な減少により企業部門の急速な悪化が始まる。(2008年)
- ・東日本大震災の発生しそれに伴う福島第一原子力発電所の事故が発生(2011年)。
- ・はやぶさが小惑星イトカワの調査を終了し帰還した。(2010年)
- ・iPhoneが発売(2007年)に加えスマートフォン、タブレット端末の普及に伴いブログやSNSなどがコミュニティツールとして一般化した。

2005
第31期
平成17年度

《あゆみ》

- ・第31回通常総代会
- ・生協全般の問合せ・申込受付の業務を専門に対応するため「受付センター」を設置
- ・組合員専用ホームページ開設(電子書庫のみ)①
- ・「O得コミュニケーション」4年計画きめ細かいPR活動を実施②

《保険》

- ・「総合医療保障プラン」介護補償オプション導入③

《営業》

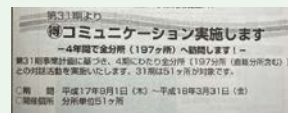
- ・創立以来指定店として契約していた「丸井」が契約解除
- ・電子書庫につづきインターネットショッピング開始④

①

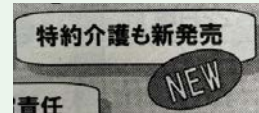


組合員専用ホームページ開設

新たに電子書庫を開発しました。これにより、各種パンフレット、マイショッピング、定款などを本のように快適に閲覧できるようになりました。さらに、刊行物を無料でお取り寄せいただけるサービスも提供開始しました。



「O得コミュニケーション」②
4年計画
4期にわたり全分所(197ヵ所)との対話活動を実施しました。



介護補償オプション導入③
病気やケガで介護が必要となった場合の補償。組合員と家族に安心をお届けします。



④

組合員専用インターネットショッピングOPEN!(平成17年9月)
インターネットを通じて商品購入が可能になりました。

2006
第32期
平成18年度

《あゆみ》

- ・第32回通常総代会
- ・「東電生協2010ビジョン」の発案により中・長期計画を認識
- ・引落とし不能者への当月通知開始

《営業》

- ・ICチップ入りの「組合員証」に更新⑤



⑤

ICチップ入りの「組合員証」に更新
セキュリティ面をさらに強化し、ICチップ搭載のカードへ更新となりました。

2007
第33期
平成19年度

《あゆみ》

- ・第33回通常総代会
- ・平成20年4月1日施行の「生協法」の大幅な改正と事業にかかわる保険業法の改正(定款をはじめ規約規則を改正し業務運営の見直し等行った)
- ・過去最大の貸倒償却金を計上

《保険》

- ・自動車保険のペットネームを組合員に募集し「選良役車」に決定⑥

《営業》

- ・新潟県中越沖地震からの復興を願い「新潟支援」活動を実施⑦



⑥

ペットネーム「選良役車」に決定!
応募総数332件の中から決定した自動車保険「選良役車」は、今でも多くの組合員に選ばれています。

⑦



新潟特産品の販売

新潟県中越沖地震発生後、新潟県産のこしひかりやお酒、海産物など数多くの特産品を、災害復興に向けた支援活動として販売しました。

2008
第34期
平成20年度

《あゆみ》

- ・第34回通常総代会
- ・「ライフガイド2009～2011年版」の発行
- ・「〇得コミュニケーション」の4年計画の最終年を迎える
- ・組合員専用ホームページ再構築⑧
- ・オンラインシステム更新(データ漢字化)
- ・「せいきょうニュース400号発行」⑨

《保険》

- ・「がん保険f(フォルテ)」取扱い開始⑩
- ・「生協ローン」、「厚生ローン」を「新・生協ローン」、「新・厚生ローン」へ名称変更(提供先:みずほクレジット(旧社名株ハートクレジット)から三井住友海上へ変更)

《営業》

- ・「東電グループ・駅伝チーム」が「ニューイヤー駅伝」への初出場を果たし、生協としてチーム支援を兼ねた「駅伝グッズ」の販売を実施⑪
- ・平成20年4月1日通信販売の受発注システム導入

職域認可に追加された企業・労働組合の扱い※

(株)ティーオーエス

インターネットで、
「引落し明細書」などの確認がカンタンに！
「引落し明細書」や「各種保険の支払証明書」をパソコンの画面からインターネット上で確認できるようになりました。

組合員専用ホームページ再構築⑧

パソコンで引落し明細が閲覧できるようになりました。
現在では当たり前となっているWEB明細ですが、実はそのサービスは15年以上前から開始されていたのです。

がん保険f(フォルテ)の取扱い開始
がん保険f(フォルテ)は、がんの発生リスクを軽減するための保険です。がんが発見された場合、治療費や入院費、手術費などを補償します。また、がんが発見された場合、がん保険f(フォルテ)の保険金を活用して、がんの治療費や入院費、手術費などを補償することができます。

「がん保険f(フォルテ)」取扱い開始

先進医療給付で、医療の進歩へ対応できるがん保険になりました。

おかげさまで
400号

「せいきょうニュース第400号」平成20年12月1日発行

暮らしに役立つ紙面づくりを目指して、組合員の皆さまのご愛読に感謝しながらこれからも暮らしに密着した内容をお届けします。

東電グループ・駅伝チームが「ニューイヤー駅伝」への初出場
社会人駅伝チーム「チームTEPCO」が発足に伴い、東電生協にてマフラーや手袋、ネックウォーマーなどのオリジナルグッズを販売しました。

出資口数40口を超える部分
出資金一部返金がスタート
受付期間:平成22年1月29日(金)

「出資金一部返金」の実施
一定の条件を満たした組合員の方は、出資金の一部を請求することが可能となりました。「利用分量割戻し制度」によって増資された組合員の皆さまの出資金は、これまで脱退を前提に返金されていましたが、平成21年度(第34期利用分量割戻し処理後)より、一定の条件を満たすことで脱退せずに一部を請求することが可能となりました。

関連職域(一部)組合員の皆様へ
口座引落し日を変更できます
本誌9月号と10月号でご案内のとおり、下記12職域にお勤めの方は、生協利用代金の引落日を22日→27日へ変更することが可能となりました。

「口座引落し日複数化」の実施
関連企業の組合員の皆さまからの継続的な要望に応え、新たな引落日(27日)を実現しました。これにより、引落し不能者数が減少しました。

火災共済規約改定のお知らせ
【按分規定のイメージ】
一つの建物に火災共済300口、火災保険3,000万円を契約し、損害額5,000万円の被害が発生した場合、
火災共済 給付限度額 3,000万円
A社火災 保険金額 3,000万円
火災共済から 火災保険から 1,500万円
このように損害額である3,000万円を超える共済(保険)金は受け取ることができなくなります。

14 事業規約改定
保険法の施行により、組合員が複数の火災保険、火災共済に加えて被害があった際、損害額以上の保険金・共済金の受け取りが不可となりました。

「マイショッピング」に沖縄電力生協が加わり、3単協での合同通販誌となる
夏のうまいもんは北海道電力生協・沖縄電力生協との初コラボ企画を実施により豊富な品揃えになりました。

「ハッピーセレクト」へ名称変更

家庭常備薬や生活雑貨を掲載した「我が家のリクエスト」は、たくさんの組合員にネーミング募集を行った結果、新たにペットネームを「ハッピーセレクト」へリニューアルしました。

2009
第35期
平成21年度

《あゆみ》

- ・第35回通常総代会
- ・「出資金一部返金」の実施⑫
- ・「口座引落し日複数化」の実施⑬

《火災共済》

- ・地震等見舞金適用範囲拡大
- ・鑑定人制度導入

《営業》

- ・首都圏協力会発足30周年を迎える

職域認可に追加された企業・労働組合の扱い※

東電用地(株)・東電ホームサービス労組・東電タウンプランニング労組

2010
第36期
平成22年度

《あゆみ》

- ・第36回通常総代会
- ・東電生協ホームページ全面再構築(モバイル版追加)

《火災共済》

- ・事業規約改定⑭

《営業》

- ・ガソリン代理店ブランドをENEOSに統一
- ・コジマネット導入
- ・東京支所10周年記念バザール開催
- ・「マイショッピング」に沖縄電力生協が加わり、3単協での合同通販誌となる⑮
- ・「我が家のリクエスト」から「ハッピーセレクト」への名称変更⑯

職域認可に追加された企業・労働組合の扱い※

東京臨海リサイクルパワー(株)

2011
第37期
平成23年度

《あゆみ》

- ・第37回通常総代会
- ・「非常時事業推進委員会」を設置し、組合員保護や職域に関する情報収集と共有化を目的とし、迅速な適格処理を進める
- ・立替金処理システム導入【震災対応】
- ・携帯版WEB引落し明細書導入【震災対応】
- ・配偶者組合員制度発足
- ・継続加入組合員制度発足

《火災共済》

- ・その他災害に「外部からの物体の落下、飛来、衝突等」を追加

《保険》

- ・「総合医療保障プラン」ホールインワン・アルバトロス費用オプション導入
- ・がん保険「Days」導入

《営業》

- ・マイカー購入制度 分割金利引下げキャンペーン開始⑰

職域認可に追加された企業・労働組合の扱い※

日本ファシリティ・ソリューション(株)/東電ハミングワーク(株)/東電交渉員労働組合協議会

その商談、ちょっと待った!!

皆さまのお声により「マイカー購入制度」がリニューアルしました。



■新旧制度比較表

	旧制度	新制度
割賦元金限度額	300万円	500万円
お支払い回数	60回(5年)	96回(8年)
キャンペーン金利 (支払い回数×金利)	0.1%	平成24年3月末まで 0.07%
利用分量の割戻し		対象となります。

※キャンペーン金利の適用は平成23年11月から平成24年3月末車両登録分までとなります。

マイカー購入制度0.07%金利引下げキャンペーン

2011年11月より新たにリニューアルしました。
0.1%→0.07%低金利への引下げ、利用限度額を300万→500万に拡大、返済回数(最大96回まで)の延長など、ますます利用しやすいキャンペーンを実施しました。

東日本大震災における生協の主な対応

携帯版WEB引落し明細書導入



震災後に組合員からの要望により携帯電話で引落し明細書が確認できるようになりました。

震災発生に伴うマイカー特別措置【震災対応】

支払いの方法の組み直しや、被災され廃車せざるを得なくなった車を一括精算せずに所有権解除ができる廃車手続きを可能とするなど、震災に伴う利用組合員に対する救済措置を行いました。

- 1 東日本大震災に伴い「マイカー購入制度」で特例措置
支払い方法の組み直し
- 2 廃車(所有権解除)
※震災被災者限定
- 3 利用限度額の引き上げ
(300万円) ※震災被災者限定

被災組合員の各種カードの再発行について

被災組合員の各種カードの再発行について【震災対応】
組合員証の再発行には通常「東電生協変更届」の提出が必要となりますが、特例措置として省略し、ご連絡いただいた日から4営業日で再発行をしました。

引落し不能時の被災者救済措置について

引落し不能時の救済措置【震災対応】

震災の影響により、「資金の移動ができない」「金融機関が稼働していない」「振込みにいけない」などの事情により、やむなくお支払いいただけない状態となってしまった組合員様に対する救済措置を実施しました。

送付先住所について

送付先住所管理・システム連携対応【震災対応】

避難者や仮住まい者への対応として、避難先に住所変更すると、火災共済の契約住所に影響がでてしまうため、火災共済は被災地の登録のままにしつつ、引落し明細書などの必要書類は仮住まい先や避難先に届くように送付先住所を設けました。

福島復興支援

福島復興バザールの開催

2011年12月、東京電力川越支社ならびに東京電力横浜火力発電所にて「福島復興バザール」を開催。来場者の温かいご協力により特産品の多くの商品が完売になるなど、復興への思いが存分に詰まったバザールでした。



福島復興支援第1弾

福島県産桃の販売開始

震災の影響により農産物や観光業を中心に風評被害が発生した中、果物の産地福島県と東北地方全体の復興を願い、旬な桃や東北地方の特産品の販売に積極的に取り組みました。



福島復興支援第2弾

会津地方の特産品や相馬産の海産物を新たに販売し、福島支援の輪をさらに広げる取り組みを行いました。



福島復興支援第3弾

福島復興支援第3弾は相馬産海産物に加え、新たに福島県産サンふじりんごを販売しました。

2012
第38期
平成24年度

《あゆみ》

- ・第38回通常総代会
- ・送付先住所管理運用システム導入【震災対応】
- ・出資金一部返金追加実施【震災対応】

《営業》

- ・福島県漁連と取引開始(かつお缶)¹⁸
- ・復興支援第7弾
「サンふじりんご」「みしらず柿」を展開¹⁹
- ・メールマガジン 第1号配信²⁰

職域認可に追加された企業・労働組合の扱い※
東電用地職員労働組合



18 福島県漁連と取引開始

東日本大震災以降、風評被害への取組みの一環として福島県漁業協同組合連合会(略称:福島県漁連)商品の「かつおフレーク油漬缶詰」の取扱いを開始し、支所・分所をはじめとする協力により、さらなる支援に向け今後もお販売を続けています。⇒累計販売数は348,269缶(2025.02現在)



福島復興支援第7弾¹⁹

サンふじりんごの継続販売に加え、更なる取り組みとして「みしらず柿」を新たに販売しました。

20



メールマガジン 第1号配信

2012年7月12日、第1号記念として配信開始。
以降、通販や保険を中心に数々のお買い得情報やご案内メルマガを配信しました。

2013
第39期
平成25年度

《あゆみ》

- ・第39回通常総代会
- ・組合員専用ホームページスマートフォン対応²¹

《営業》

- ・車検整備、定期点検・一般整備の分割払いが可能となり、割引もスタート
- ・合同通販誌「マイショッピング」に中国電力生協、四国電力生協が加わり、5単協での合同通販誌となる



21

組合員専用ホームページがスマートフォン対応

いつでも気軽に閲覧できるスマホHPサイトがOPENしました。

2014
第40期
平成26年度

《あゆみ》

- ・第40回通常総代会

《営業》

- ・組合員専用ホームページにおける酒類商品販売対応
- ・オリックスカーシェアと契約
カーシェアリングを導入²²
- ・40周年記念事業として様々な企画を実施²³
- ・合同通販誌「マイショッピング」に九州電力生協が加わり、6単協での合同通販誌となる

職域認可に追加された企業・労働組合の扱い※
環友産業(株)・環友産業労働組合・東電不動産労働組合



22 オリックスカーシェアと契約

現在もご利用可能なカーシェアリング。



23 40周年記念事業

- ・2014年11月パークファンパーティーの実施
- ・日本フィルハーモニー交響楽団特別演奏会への優待
- ・ノベルティーグッズの作成
- ・40周年記念アイコンの制定
- ・マイカー購入制度低金利キャンペーンの継続

